

平成22年度 沖縄県功労者表彰式

県は、11月3日、平成22年度沖縄県功労者表彰式を那覇市内のホテルで開催し、受賞者の親族や関係者など多数の出席の下、各部門で功績のあった11人の方々に仲井真知事から表彰状と功労賞を贈呈しました。



社会福祉部門
のほらゆきこ
野原 幸子氏 (76歳)
永年にわたり交通安全協会などの要職を歴任し、交通安全運動のリーダーとして交通マナーの普及啓発や創意工夫を凝らした交通安全活動を通じて、沖縄県の交通事故の防止に貢献した。

社会福祉部門
たいら がけい
平良 賀計氏 (87歳)
沖縄県における精神科医療の先駆的存在として、精神障害者の治療対策ならびに知的障害児の教育福祉対策に尽力した。また、沖縄県精神科病院協会の会長として、精神衛生事業の推進および発展に貢献した。

地方自治部門
かみやま みさお
神山 操氏 (76歳)
永年にわたり沖縄県地方労働委員会労働者委員として労使紛争の予防や解決に尽力し、労使関係の安定化および健全化に献身的に取り組んだ。また、沖縄県労働組合協議会や日本労働組合総連合会沖縄県連合会の要職を歴任するなど沖縄県の労働行政と経済の発展に貢献した。

社会福祉部門
よぎ ちよこ
與儀 千代子氏 (79歳)
永年にわたり臨床看護の第一線で活躍する傍ら、看護職員の確保や看護教員の養成および医療看護の環境整備に尽力した。また、沖縄看護協会の大任を歴任し、沖縄県の保健医療の発展に貢献した。

教育部門
せきね
関根 サク氏 (79歳)
永年にわたり幼児教育の第一線で活躍する傍ら、幼児期の3年保育の推進に熱意を注ぎ、私立幼稚園教育の普及に取り組んだ。また、沖縄県私立幼稚園連合会の要職を歴任し、沖縄県の幼児教育および私立幼稚園の発展に貢献した。

産業経済部門
こくぼ こういちろう
國場 幸一郎氏 (77歳)
永年にわたり社会資本の整備に尽力したほか、人材育成や機械化工法の普及など建設業の近代化に尽力した。また、沖縄のリゾートホテルの先駆けとなるホテルムーンビーチを設立するなど、沖縄県の観光および産業の振興に貢献した。

文化部門
たまき まさやす
玉城 正保氏 (86歳)
永年にわたる東京での機関誌発行などの活動を通じて沖縄の情報発信に努める傍ら、県外および海外において琉球舞踊、組踊、空手などの沖縄芸能公演を開催し、沖縄県の観光および産業の振興に貢献した。

産業経済部門
ほかま せいけん
外間 政憲氏 (79歳)
沖縄県における印刷事業者の組織化に取り組み、業界の経営安定と向上に尽力した。また、沖縄県中小企業団体中央会および沖縄県工業連合会において要職を歴任し、沖縄県の産業振興に貢献した。

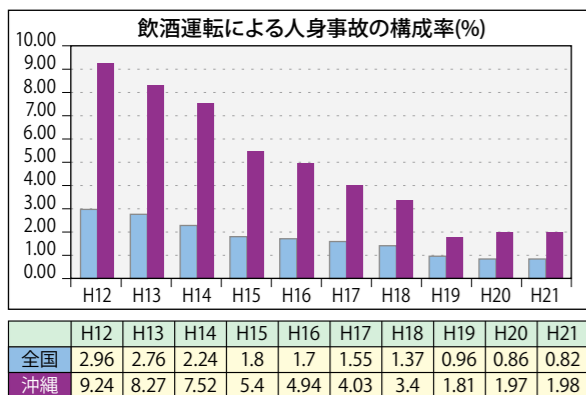
文化部門
なかた さちこ
仲田 幸子氏 (77歳)
永年にわたり喜劇の女王として広く親しまれ、時代を反映した人情味あふれる芝居で、県民に笑いと活力を与えた。また、後進の指導育成に尽力するとともに、沖縄芝居の継承と発展に努め、沖縄県の伝統芸能の振興に貢献した。

産業振興部門
あらかつじ
新 哲次氏 (88歳)
みんさーウェアなどの現代的感覚を新新に取り入れた商品の開発販売を行い、沖縄県の伝統工芸品である八重山ミンサーの普及拡大と後継者育成に尽力し、沖縄県の産業振興に貢献した。

体育・スポーツ部門
なかもと こうしん
仲本 興真氏 (77歳)
永年にわたり沖縄民謡の創作と普及に努める傍ら、レクリエーション協会やフォークダンス連盟を結成し、指導者の養成と県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に貢献した。



10月に開催された飲酒運転根絶県民大会の様子



飲酒運転の状況
昨年の県内における飲酒絡みの死亡事故は十三件で、全死亡事故に占める割合は二十八%。十五年連続全国ワーストワンという不名誉な記録が続いています。また、飲酒運転で検挙された人は約千七百人で、人口千人当たりでは全国平均の約四倍となっています。今年十月二十六日現在で、飲酒運転の検挙件数は千五百八十八件で、昨年より二百六十件約二十%増加しており、憂慮すべき状況です。

「飲酒運転をしないさせない許さない」
「沖縄県飲酒運転根絶条例」施行一周年
毎月一日は「飲酒運転根絶運動の日」です。家庭、職場や地域など県民総ぐるみの取り組みで、飲酒運転ゼロをめざしましょう！

飲酒運転根絶に向けて
道路交通法では、昨年の六月から飲酒運転に関する行政処分が強化されています。飲酒運転は、被害者を生むだけでなく、加害者にとっても仕事や生活に非常に大きな困難を抱えることとなります。また、昨年施行された「沖縄県飲酒運転根絶

※1単位=純アルコール20gを含む酒量

1単位 500ml ビール アルコール度 5%	1単位 小グラス2杯 200ml ワイン アルコール度 12%	1単位 コップ半分 100ml 泡盛 アルコール度 25%
----------------------------------	---	---

出典：(社)日本損害保険協会
「飲酒運転防止マニュアル」

アルコールが与える影響
県内において飲酒運転で検挙された人の約五人に一人が午前六時から午前十時の時間帯であるというデータから、二日酔いでも飲酒運転になることや体内でのアルコールの処理時間など、アルコールが与える影響について十分知られていないことがうかがえます。酒との正しい付き合い方について、その家族をはじめ周囲の方々も正しく理解する必要があります。

条例では、県民、事業者、飲食店営業者等に飲酒運転根絶に向けた取り組みを求めています。
交通事故のない安全で安心して生活できる沖縄県にするため、私たち一人ひとりが「飲酒運転をしないさせない許さない」という強い意志で行動し、家庭・職場・地域など社会全体で飲酒運転根絶気運を盛り上げていきましょう。

飲酒運転に関する違反行為の点数・処分内容等

状態	酒酔い運転		酒気帯び運転	
	アルコールの影響で正常な運転ができないおそれのある状態	呼気1ℓ中アルコール0.25mg以上	呼気1ℓ中アルコール0.15mg以上0.25mg未満	呼気1ℓ中アルコール0.15mg未満
処分内容	免許の取消	免許の取消	免許の停止	
点数	35点	25点	13点	
罰則	5年以下の懲役または100万円以下の罰金	3年以下の懲役または50万円以下の罰金		

交通事故でお困りの方は 沖縄県交通事故相談所へ
(本所)県南合同庁舎五階
☎〇九八-八六六-二一八五
(中部支所)県中部合同庁舎四階
☎〇九八-九三九-七五二二
相談日 月・金曜日(祝日を除く)
相談時間 午前八時半～午後五時十五分
※相談は無料です。

お問い合わせ ● 県民生活課 TEL:098-866-2187 FAX:098-866-2789

お問い合わせ ● 県秘書課 TEL:098-866-2080 FAX:098-860-1453



沖縄国際アジア音楽祭
平成23年3月18日～20日開催!



沖縄国際アジア音楽祭
平成23年3月18日～20日開催!